
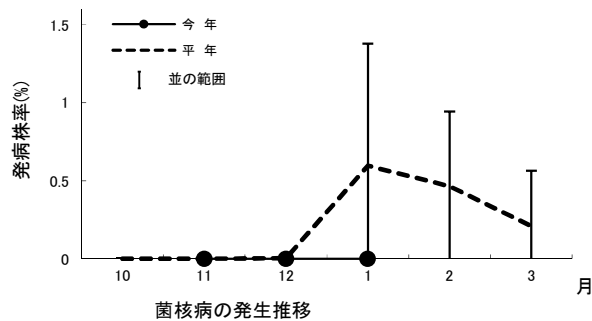


作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	① 菌核病		
1月の発生量（現況）	(発生なし)並		
2月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より低い見通しから、1月より発生量は増加すると考えられる。		

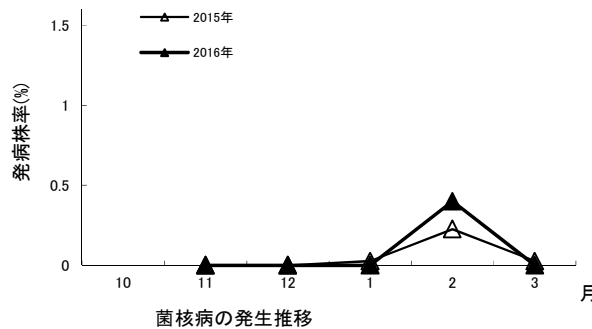
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 1月下旬の調査の結果、発病株率は0%（前年0.4%、平年0.5%）と平年並であった。

（今年のデータ）



（過去2年のデータ）



防除のポイント

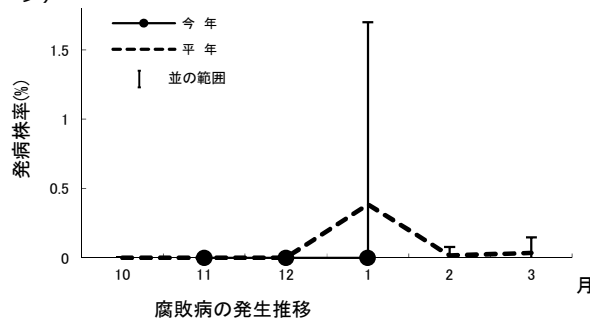
- ・ 密植栽培を避けて、通風をよくする。
- ・ 被害株は菌核を形成しないうちに、早めに抜き取る。
- ・ 本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・ 多発生した場合は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	② 腐敗病		
1 月の発生量 (現況)	(発生なし)並		
2 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病株率の平年の発生推移から、1月より発生量は減少すると考えられる。		

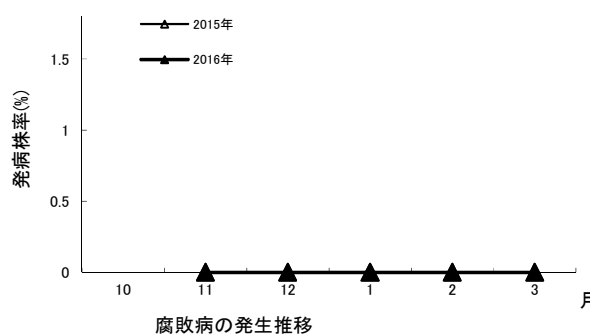
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 1月下旬の調査の結果、発病株率は0% (前年0%、平年0.4%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

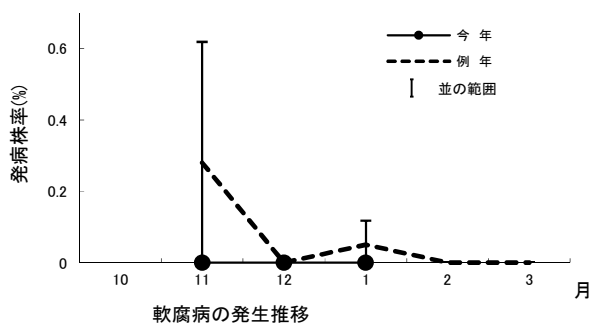
- ・ ほ場の排水を良くするとともに、密植栽培を避けて通風をよくする。
- ・ 発病株は放置せずに抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・ 本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・ 多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	③ 軟腐病		
1 月の発生量 (現況)	(発生なし)並		
2 月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病株率の平年の発生推移から、1月より発生量は減少すると考えられる。		

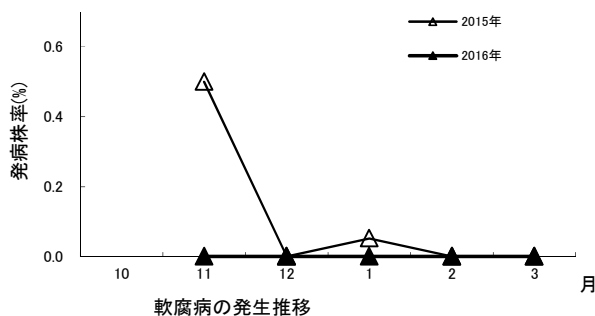
発生量の根拠 (調査結果)

- 1月下旬の調査の結果、発病株率は0% (前年0%、例年0.1%) と例年並であった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

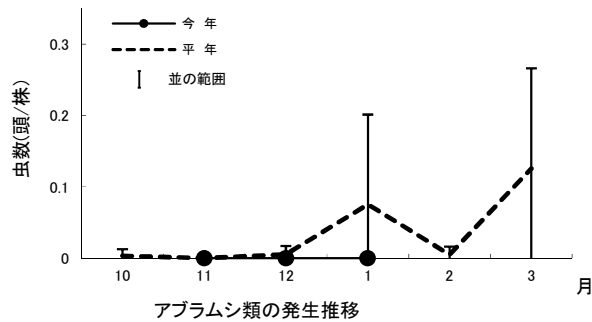
- ・ほ場の排水を良くするとともに、密植栽培を避けて通風をよくする。
- ・菌の侵入源となる傷口の発生を助長するヨトウ類の幼虫やナメクジなどの駆除に努める
- ・薬剤散布は予防を主として、株元を中心に、丁寧に行う。
- ・発病株は放置せずに抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
1月の発生量(現況)	(発生なし)並		
2月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、1月より発生量は減少すると考えられる。		

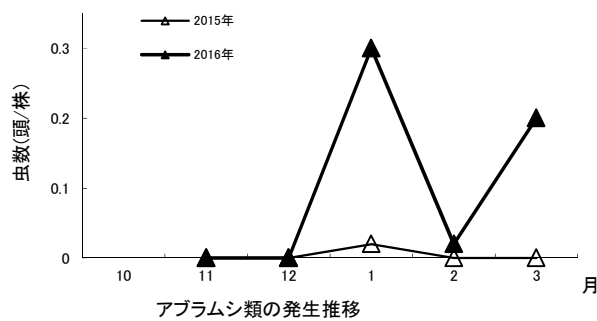
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 1月下旬の調査の結果、株当たり虫数は0頭(前年0.3頭、平年0.1頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

- ・ 多発すると防除が困難になるので、葉裏を観察し、早期発見・早期防除に努める。
- ・ 天敵に影響の少ない、選択性殺虫剤を選定する。